

経営比較分析表（令和3年度決算）

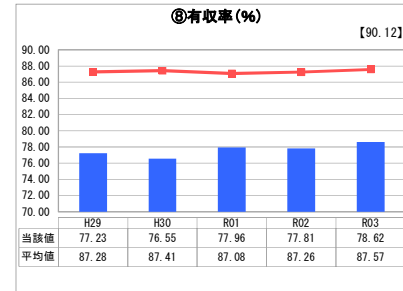
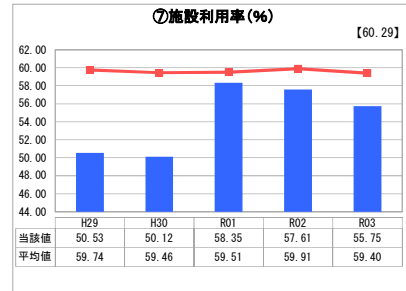
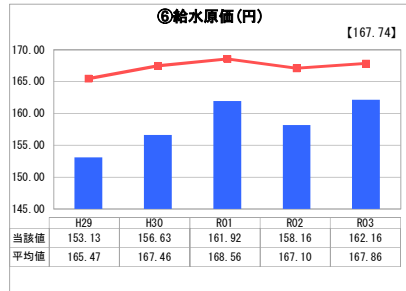
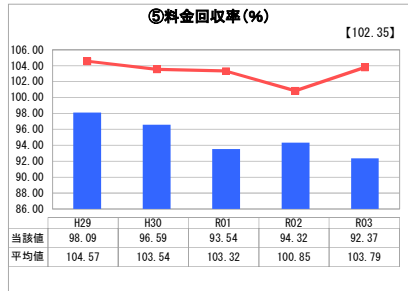
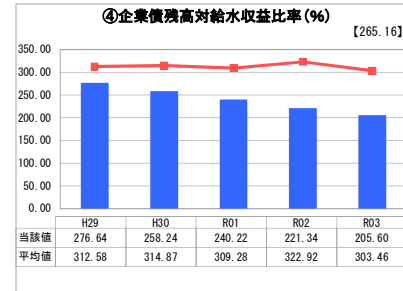
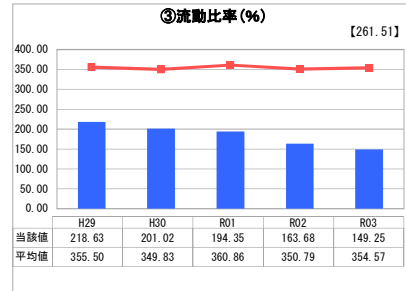
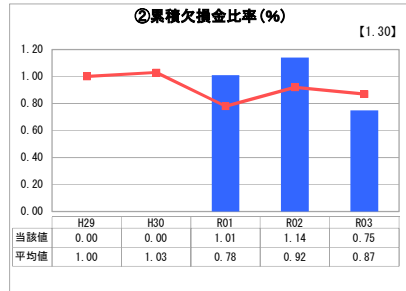
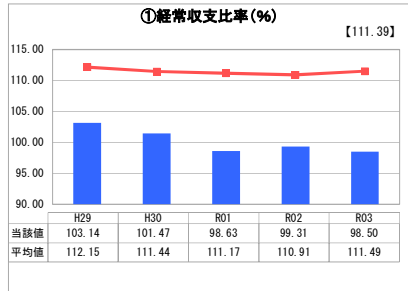
群馬県 渋川市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	81.78	98.88	2,475	

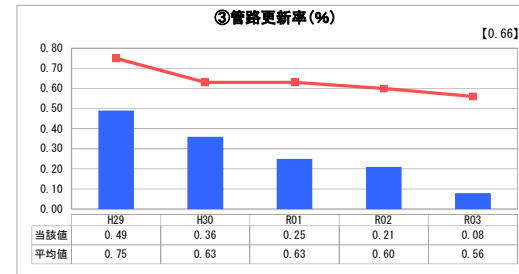
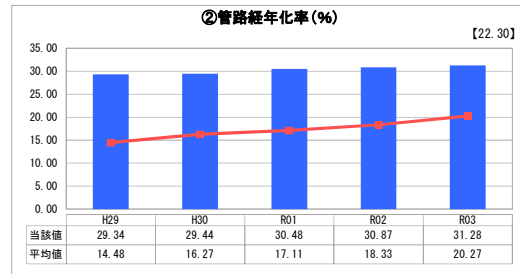
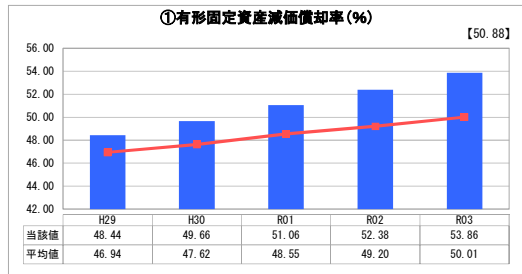
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
74,856	240.27	311.55
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
73,617	136.33	539.99

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
昨年度に比べ悪化した。経常損失が発生しており、料金改定を含めた経営改善が早急に必要である。
- ②累積欠損比率
欠損が発生しているが、利益積立金から補填するため資金面での問題はない。
- ③流動比率
100%を上回っており短期債務の支払能力は問題ないが、減少が続いているため、料金改定を含めた経営改善が早急に必要である。
- ④企業債残高対給水収益比率
類似団体平均を下回っている。今後企業債を計画的に利用し、施設更新を進める必要がある。
- ⑤料金回収率
減少が続いているため、料金改定や経費削減、有収率向上等の経営改善が早急に必要である。
- ⑥給水原価
類似団体平均を下回っているが増加が続いており、経費削減や合理化等の改善が必要である。
- ⑦施設利用率
簡易水道事業統合の影響もあり、類似団体平均値を下回っている。施設の統廃合・ダウンサイジング等の検討が必要である。
- ⑧有収率
類似団体平均を下回っており、早急に改善が必要である。引き続き漏水調査や管路更新等により改善を目指す。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
類似団体平均値を上回っており老朽化が進んでいることが分かる。計画的な更新が必要である。
- ②管路経年化率
他事業関連の管路施設が多く、老朽管更新を先送りしていることもあり、類似団体平均値を上回っている。重点的・計画的な更新が必要である。
- ③管路更新率
他事業関連の管路施設が多く、老朽管更新を先送りしていることもあり、類似団体平均値を上回っている。重点的・計画的な更新が必要である。

全体総括

施設の老朽化が進んでおり、有収率や料金回収率の低下に影響していると考えられる。アセットマネジメントを含めた経営戦略に基づき、施設の更新・長寿命化を進める。
昨年に続き経常収支比率が100%を下回っているため、経費削減等による経営改善を進めるとともに、適切な料金体系へ向けた料金改定の検討を進める。
また、企業債を計画的に活用し、施設更新を進める。